

病院名	岩手県立胆沢病院
研修科目名	内科

◇ GIO（一般目標）

内科領域における基本的な診断・治療にかかわる知識・技能・態度を習得する。

◇ SBOs（個別行動目標）

1. 病歴（普段のADL、社会的状況、内服薬などを含む）を正確に聴取できる。
2. 身体所見（病態把握、全身観察、頭頸部、バイタルサインと精神状態、皮膚などを含む）を正確に捉えられる。
3. 頻度の高い疾患の鑑別診断ができ、治療計画を立てられる。
4. 基本的な処置・治療手技ができる。
5. 病態（ストーリー）が明確にわかるカルテ記載ができる。
6. 症例・研究などの要点をまとめ、論理的に呈示することができる。
7. 患者・医療スタッフと良好なコミュニケーションをとることができる。
8. co-medical staffも含めた各種チーム医療に積極的に参加できる。
9. 知識・技能に対する意欲を持ち続ける事ができる。

○呼吸器

10. 呼吸困難に対して鑑別診断を挙げ、緊急時の対応ができる。
11. 胸部X線写真を読影できる。
スパイログラムができ、結果を解釈できる。
血液ガスを採血でき、酸素療法を適切に実施できる。
抗菌剤を適切に使用できる。グラム染色ができる。
気管支鏡検査の観察ができる。

○循環器

10. 胸痛、動悸等の症候に対して鑑別診断を挙げ、緊急時の対応ができる。
11. 心電図を判読できる。
各種不整脈の診断および適切な治療ができる。
狭心症や心筋梗塞の診断ができる。
うっ血性心不全を診断し緊急治療の計画を立てられる。
心臓カテーテル検査に参加し、その所見を正確に解釈できる。
心臓超音波検査の基本的な観察ができる。

○消化器

10. 腹痛等の腹部症候に対して鑑別診断を挙げ、緊急時の対応ができる。
11. 腹部X線・腹部CT・内視鏡写真の画像診断ができる。
腹部超音波検査ができる。
指導医とともに内視鏡検査ができる。
胃管・イレウス管の挿入ができる。

○一般内科

8. 意識障害、けいれん発作等の症候に対して鑑別診断を挙げ、緊急時の対応ができる。
9. 降圧薬を適切に使用できる。
二次性高血圧の鑑別診断ができる。
血尿・蛋白尿などの尿異常に対して適切な検査プランを立てられる。
腎機能低下症例に対して薬剤等を適切に使用できる。
糖尿病性昏睡・低血糖等に対して緊急時の対応ができる。
骨髄穿刺ができる。血液疾患の鑑別診断ができる。
不明熱、関節痛、膠原病の鑑別診断ができる。
内分泌疾患の鑑別診断ができる。
神経学的診察が正確に行え、正常・異常の判断と局所診断ができ、病歴・診察所見に基づき病因の推定ができる。

◇ 研修方略

項目	該当する行動目標	内 容		時間	担当	方法
急患係	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11.	救急患者の病歴聴取・身体診察 カルテ記載 必要な検査オーダー 検査データ解釈・画像読影 初期治療	態度 想起 解釈 問題解決 技能	平日の午前又は 午後の半日	上級医 指導医	○ J T
病棟業務	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11.	病歴・身体診察 カルテ記載 患者の問題点の把握・整理 治療計画の作成 目標の設定（＝ストーリー展開） 基本的な処置・治療手技の習得 退院サマリー等の書類作成	態度 想起 解釈 問題解決 技能	休暇以外毎日	指導医 上級医	○ J T
院長回診	1. 2. 3. 5.	患者のプレゼンテーション 討議への参加	想起 解釈	主治医毎随時	院長	回診
科長回診	5. 6. 9. 11.	症例・知識の共有	問題解決	（土）10:00～	内科長	
外来診察	1. 2. 3. 4. 5. 7. 8. 9.	病歴・身体診察 カルテ記載 検査オーダー 鑑別診断 治療戦略・薬の処方 病状経過の観察	態度 想起 解釈 問題解決 技能	平日9:00～	指導医 上級医	○ J T
カンファレンス	1. 2. 6. 9. 11.	症例呈示 データの解釈 生理検査の解釈 画像読影 討議への参加	想起 解釈 問題解決	心電図カンファ X線写真カンファ 病理検討会 救急症例検討会 モーニングカンファ 消化器病理カンファ 呼吸器カンファ カメラカンファ シネカンファ 等	指導医 上級医	カンファ レンス
研修医 臨床講義	4. 8. 9. 10. 11.	各科救急診療の指針 NST、輸液、輸血などの基本 エコーガイド下CV実習 BLS、ACLS、縫合実習 グラム染色実習 医療安全、MSWなどチーム医療の手順など	想起 技能	（月）19:00～	指導医 co-medical staff	講義

◇ 研修評価

いずれも指導医と看護師などの多職種が主に観察記録で評価を行う。
 担当した指導医は関わった上級医や他の指導医の意見を集約して、EPOCへ入力するとともに上ベースの評価票を用いた形成的評価（態度・技能など）を行う。同時に研修医も指導医に対する評価を行う。
 内科系各ローテートごとに、内科系病棟主任以上の看護師による研修医に対する、紙ベースの評価票を用いた形成的評価を実施する。
 年度後半に、看護師以外の検査技師（細菌室、病理室等）や放射線技師などの多職種も、紙ベースの評価票を用いた形式的評価を行う。
 全ての評価結果は慣習管理委員会（小委員会）に集約し検討したうえで、各研修医にその都度フィードバックをする。指導医に対する評価も同様に処理する。